

令和5年度 虐待防止（身体拘束適正化）委員会 評価結果

記録者 加藤利恵

日時 : 令和6年4月23日(月) 16:00 ~ 17:00

場所 : 株式会社エヴァーウイングル

参加者: 虐待防止委員長 加藤利恵 (代表)

虐待防止委員 松井泰彦 (管理者・サービス管理責任者)

第三者委員 藤澤幸平 (成迫社会保険労務士法人)

1. 社内からの虐待（疑い例）について

令和5年度 虐待（疑い例）報告件数 2件

今年度の虐待（疑い例）件数は2件だった。

1件目

支援員から「ある利用者さんに対してそっけない態度を取ってしまい虐待にあたる行為をしてしまった」と虐待防止委員に報告があった。虐待防止委員長が支援員と利用者さんから聞き取り調査をした結果、利用者さんは支援員の対応に問題を感じていない様子だったが支援員には厳重に注意し指導を行った。

2件目

利用者の意向に反する支援が見受けられた支援員に対し注意、指導を行った。

虐待防止委員長から

虐待（疑い例）を発生させてしまったことを反省し改善に努める。毎日行っている情報共有の時間を利用し、その日あった事を相談できる場を設けた。短時間ではあるが、そうした取り組みからも虐待防止に繋げていきたい。来年度も引き続き各職員が虐待防止のためのチェックリストを用いて定期的に支援内容の振り返りを行い、支援者が常に虐待防止を意識してサービスの提供を行えるように取り組む。またそのチェックリストを虐待防止委員長と第三者委員が確認、検証し、適切なサービスの提供を行えるように指導する。研修については、年間計画に基づき定期的に受講する。

2. 身体拘束等の対応・方針の確認

- ・身体拘束等の記録（様態・時間・利用者の心身の状況）のチェック・内容の検討
- ・『緊急やむをえない理由』が引き続き妥当かどうかの確認

身体拘束等の件数 0件

今年度の対応件数は0件だったが、緊急やむを得ず身体拘束等を行う場合に支援員が適切な対応がとれるよう虐待防止規程で再度確認し周知徹底を図る。

3. 第三者評価

虐待疑いの2件につきまして、事案の共有と定期的な相談の場を設けて頂き、社内の意思統一をお願い致します。

チェックリストの活用など社内での虐待防止体制の確立、日頃の意識付けを徹底していただき、適切なサービス利用を行えるよう社員教育の継続をお願い致します。